

学校教育目標
心豊かで しなやかに
生きる力 を育成する



京都市立西ノ京中学校
学校だより ⑩
令和2(2020)年1月31日
校長 内田 隆寿

学校改善に向けた後期保護者アンケート

～ご協力ありがとうございました～

01年度後期 保護者アンケート 前期比較

2019(令和01)年12月実施 回収数 134枚
2019(平成01)年06月実施 回収数 126枚

	質問項目 【右、A+B欄の矢印は前年同期と比較して5%以上変動のあったもの】	A+B		A そう思う		B 大体そう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない	
		01後期	01前期	01後期	01前期	01後期	01前期	01後期	01前期	01後期	01前期
学校生活・学習面	子どもは安心して楽しく学校に通っている。	93.3%	98.4%	55.2%	61.6%	38.1%	36.8%	6.0%	1.6%	0.7%	0.0%
	子どもは学校の授業を「わかる」と言っている。	76.1%	85.6%	14.9%	23.2%	61.2%	62.4%	21.6%	14.4%	2.2%	0.0%
	子どもには基礎的基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う。	78.4%	80.9%	17.2%	23.8%	61.2%	57.1%	19.4%	17.5%	2.2%	1.6%
	子どもは部活動に楽しく熱心に参加している。	↓ 84.5%	91.0%	40.3%	52.5%	44.2%	38.5%	8.5%	5.7%	7.0%	3.3%
	子どもには困ったことや悩みを相談できる友人がいる。	82.7%	86.2%	25.6%	30.6%	57.1%	55.6%	15.8%	12.1%	1.5%	1.6%
	家で予習や復習、宿題等の勉強はできている。	63.4%	65.9%	17.9%	27.0%	45.5%	38.9%	31.3%	30.2%	5.2%	4.0%
	子どものことについて、先生と気軽に相談できる。	81.3%	80.1%	23.1%	20.6%	58.2%	59.5%	16.4%	17.5%	2.2%	2.4%
	学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる。	87.3%	93.6%	23.9%	34.1%	63.4%	59.5%	11.9%	4.8%	0.7%	1.6%
	校舎・教室は整理整頓され、掲示物等は分かりやすく配置されている。	93.3%	93.6%	29.1%	35.2%	64.2%	58.4%	6.7%	5.6%	0.0%	0.8%
	学校は一人ひとりを大切にした教育活動をすすめている。	↑ 88.1%	88.8%	17.2%	18.4%	70.9%	70.4%	11.9%	9.6%	0.0%	1.6%
	教職員は生徒のために熱心に取り組んでいる。	94.0%	95.2%	32.8%	30.4%	61.2%	64.8%	5.2%	4.0%	0.7%	0.8%
	西ノ京中学校の教育活動に満足している。	89.4%	92.8%	23.5%	20.0%	65.9%	72.8%	9.1%	5.6%	1.5%	1.6%
家庭生活・家庭の役割	子どもは校則やきまりを守っている。	97.8%	97.6%	44.0%	47.6%	53.7%	50.0%	2.2%	2.4%	0.0%	0.0%
	家庭では「早寝・早起き」に心がけている。	62.4%	70.4%	18.0%	24.0%	44.4%	46.4%	30.1%	25.6%	7.5%	4.0%
	子どもは朝ごはんを毎日きちんと食べている。	92.5%	95.3%	65.7%	65.1%	26.9%	30.2%	6.7%	4.0%	0.7%	0.8%
	子どもに家族の一員として、役割と責任を持たせるようにしている。	79.1%	78.5%	21.6%	31.7%	57.5%	46.8%	18.7%	17.5%	2.2%	4.0%
	子どもに規範意識(マナー・モラル等)について教えている。	98.5%	98.4%	37.3%	41.3%	61.2%	57.1%	1.5%	1.6%	0.0%	0.0%
	家庭で読書の習慣がついている。	↑ 38.1%	29.3%	15.7%	10.3%	22.4%	19.0%	34.3%	38.1%	27.6%	32.5%
	子どもは自らすすんで「おはよう」「ただいま」などの挨拶ができている。	83.3%	84.1%	48.5%	44.4%	34.8%	39.7%	14.4%	11.9%	2.3%	4.0%
	子どもは配布物を必ず見せ、学校のことをよく話してくれる。	73.5%	73.0%	22.7%	31.7%	50.8%	41.3%	24.2%	24.6%	2.3%	2.4%
	授業参観や学校行事などに、できるだけ参加している。	73.3%	77.4%	16.8%	23.4%	56.5%	54.0%	23.7%	20.2%	3.1%	2.4%
	PTA活動や学校ボランティア活動に、できるだけ参加している(したい)。	49.2%	45.9%	5.3%	4.0%	43.9%	41.9%	43.2%	48.4%	7.6%	5.6%
	夜間の外出はさせていない。	↑ 97.0%	95.2%	64.4%	65.6%	32.6%	29.6%	2.3%	4.0%	0.8%	0.8%
	ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている。	82.6%	80.0%	34.8%	35.2%	47.7%	44.8%	14.4%	16.0%	3.0%	4.0%
	子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ対話している。	78.8%	72.2%	25.8%	24.6%	53.0%	47.6%	19.7%	25.4%	1.5%	2.4%

多重回答や無回答、四捨五入処理のため、合計は100%にならない場合があります。

12月に実施した後期保護者アンケートの結果をお伝えします。

例年のことですが、時間の経過とともに生徒たちの様子も変化してきており、最初は初々しい気持ちで緊張感を持って取り組んでいたことが、学校生活に慣れるにしたがって疎かになってきたり、また、保護者の方も前回より高い水準で学校の取組を評価されたりすることから、従来、後期は前期と比べてやや数値が低くなる傾向があります。今回の結果も全体的にはその傾向が表れています。

その中で、『学校生活・学習面』において今回気になる点のひとつは、「子どもは学校の授業を「わかる」と言っている」が9.5ポイント下がっていることです。前期の85.6という数値がここ3年間で最も高かったことから、例年並みに落ち着いたと言ってしまうとそれはそれまでなのですが、やはり高い数値を継続できるよう学校として授業改善を進めていきたいと考えています。自由記述欄にも2名の方から授業に対するご感想・ご要望をいただいております。また、4人にひとりが「CまたはD」と回答していただいている事実も踏まえ、様々な学力テストやアンケートなどの結果も指標にして今後も取り組んでまいります。もうひとつは、「子どもは部活動に楽しく熱心に参加している」が6.5ポイント下がり



いることです。昨年同期と比べても約6ポイント下がっています。自由記述欄にも1名の方からご要望をいただきました。部活動には、好きなスポーツや文化活動に打ち込める、強い精神力や仲間との友情を育めるなど、よいところがたくさんある一方で、生徒の学業や健康に支障が出るような「やり過ぎ」の問題が社会的な話題となり、現在は「部活動ガイドライン」の方針に沿った活動を進めています。また、教科等の学習とは違い教育課程外であることから顧問の専門性の課題、共通の志向集団で起こる子ども同士の人間関係の課題などもありますが、学校として取り組んでいる以上その解決に向けて日々取組を進めているところです。つきましては、学校における部活動の位置づけが以前と比べて随分と変わってきている現状をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

一方、プラスの要素としては、「子どものことについて、先生と気軽に相談できる」がこの3年間で最も高いものとなりました。これは、教職員が保護者の皆様との関係を築きつつあることの証であると捉えています。また、「学校は一人ひとりを大切にした教育活動をすすめている」も昨年同期より6.2ポイント上がっており、後期の数値としてはこの3年間で最も高い数値でした。あわせて、この項目に関して自由記述欄に3名の方から肯定的な感想をいただいています。



『家庭生活・家庭の役割』においては、「家庭では「早寝・早起き」に心がけている」が8ポイント下がっています。この項目は例年前期から比較的大きく下がる項目ですが、基本的生活習慣や睡眠の問題は生徒本人の健康、ひいては学校生活に直接影響を及ぼす大切な要素です。新年度に向けてずるずると崩れることがないように今一度ご家庭でご指導ください。



一方、プラスの要素としては、常に話題にのぼる「家庭で読書の習慣がついている」が8.8ポイント上がり、この3年間で最も高いものとなりました。学校だより12月号でもお知らせした全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の結果と同様、一定歯止めがかかったようにみえます。しかしながら、まだ6割以上の生徒が読書の習慣がついていないとみられることから、学校として引き続き朝読書や学校図書館を活用した授業に取り組み、本に親しめる環境づくりを進めていきます。ご家庭でも読書の面白さ、楽しさについてお話ししていただけると幸いです。また、「夜間の外出はさせていない」はこの3年間で最も高いものとなっています。昨年は知り

合った子どもを監禁する事件が続きました。これらはツイッターやラインなどSNSがきっかけになる場合が多く、ケータイやスマホの使用ルールもあわせてご家庭で十分注意して頂きたいところです。最後の「子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ対話している」も6.6ポイント上がっています。思春期の生徒は親と距離を取りたがりますが、これも自立に向けた大切な成長過程のひとつです。物理的な距離は離れるかもしれませんが、このような対話を心がけることで健全な自立を促し、親子の心もつながっていくのではないのでしょうか。

なお、自由記述は11名の方にご記入いただきました。前述以外に「思春期の生徒の様子について」「体育祭のプログラムについて」情報提供やご意見をいただきました。また、今回は「アンケートの印刷が薄かったことについて」ご指摘がありました。その中で、マークしづかったことで読み取りは正しくできているのかとのご心配の声もありましたが、データ処理後、空欄や重複して読み取ったエラー項目については、すべてアンケート回答原本と照らし合わせて確認・修正しておりますのでご安心ください。いただいた内容については、今後すぐに改善できることも含め教職員で共有し、十分に参考にさせていただきながら、今後の教育活動の向上に生かしていきたいと考えております。



1組 本格的な野菜づくりにチャレンジ！



1組では、本校の理科の授業でお世話になっている観察実験アシスタントの水上先生の指導のもと、今年度から本格的な農園づくりにチャレンジしています。「販売できるくらいおいしい野菜を育てること」を目標に、全員がこれまで以上に丁寧に時間と愛情をかけて取り組んでいます。1月10日（金）には職員室で、収穫された「コールラビ」というカブに似た



高級野菜の販売が行われました。2個限定ということで、教職員の希望が殺到し「くじり」となりました。聞いたことのない名前の野菜なので、調理方法の説明まで丁寧にしてくれました。次回も楽しみです。

お知らせ 2月25日（火）15：50～ 卒業式を飾るプランターづくり（花植え）を1・2年環境美化委員と学校運営協議会・PTAで行います。もしお時間ございましたら、3年生保護者の皆様にもお手伝いいただけると幸いです。ご参加いただける方は開始時間の少し前に東校舎旧玄関あたりにご集合ください。